

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【女子決勝戦】 C球場(マドンナスタジアム) 岸城中学校(大阪府) VS 中広中学校(広島県)

岸城中 エースの華麗な投球と徹底したつなぐ打撃で全国初制覇!!
中広中 最後まで全員笑顔のはつらつプレーで堂々の準優勝!



＜岸城中 今大会無失点で投げ切った2年生エース原＞



＜中広中 最後まで気迫の投球 2年生エース坂本＞

平成26年8月21日(木) 9:00~10:21 球審:高岡 一塁:堀田 二塁:重松 三塁:眞鍋

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
岸城中学校(大阪府)	0	0	1	4	0	0	0			5
中広中学校(広島県)	0	0	0	0	0	0	0			0

- 【バッテリー】 <先攻> (岸) ○ 原 茂那 - 山口 歩
 <後攻> (中) ● 坂本 実桜 - 八黄地 麻衣
- 【長 打】 <本塁打>
 <三塁打> 原 茂那(岸)
 <二塁打> 久保 英里奈(岸)

【戦 評】

どちらが勝っても初優勝となる戦いを制したのは岸城中だった。序盤は2年生エースの投げ合いで両者一步も譲らない展開。その均衡が破られたのは3回表だった。岸城中の攻撃、8番山口の左前安打などで2死満塁のチャンスを作り、4番横山の内野ゴロで3塁走者が先制のホームを踏んだ。さらに、4回、6番久保の2塁打を皮切りに無死1、3塁とし、9番佐々木が確実にたたきつけ、さらに1点を追加。その後、1番福重の右前安打で1死満塁とし、3番原が右中間に三塁打を放ち3点を取り、優勝を一気に手繰り寄せた。投げては2年生エース原が力のあるストレートにライズボールやチェンジアップをおりませ、打者にねらいを絞らせないとともに、堅実な守備で中広中打線を完封した。

中広中は1回裏、1番伊藤の左前に落ちる安打から好機を作るも、岸城中の堅い守りで得点ならず。5回も得点圏にランナーを進めるものの、あと一本が出ず、粘り強く投げるエース坂本を助けることができなかった。しかし、最後までベンチとスタンドが一体となって笑顔の声援を送り、そのさわやかな姿勢はプレーとともに全国の頂点をねらうチームにふさわしいものだった。

両チームともに2年生エースの活躍で勝ち上がってきた今大会。来年もその勇姿が宮城開催の全国大会で見られることを期待したい。

【勝者インタビュー】

監督談

全員の気持ちが試合を重ねるにつれて強く一つになってきた。その結果勝ち取った勝利だと思う。今まで必死に練習してきたことを優勝という成果につなげることができた。

主将談

みんなで力を合わせて練習してきたことをすべて出すことができた。試合の最初から最後まで声を切らさず、たとえ苦しい場面でも支えあうことができた。2年半ここまで多くの人が支えてくれたおかげで自分たちの目標を達成することができた。ありがとうございました。

若人よ 蒼き四国で 熱くなれ!